各学校における働き方改革のための取組状況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学校名：　須釜小学校

|  |
| --- |
| １　事務処理、業務の効率化　・押印事務で簡略化できるものを省略したり、手書き文書から電子化できるものは電子文書での作成へと移行したりして効率化を図っている。　・会計業務を整理し、校内の集金処理の手続きを事務職員に一本化した。　・スクールサポートスタッフによる環境整備など清掃作業を分業しながら業務の効率化を図っている。２　情報共有の効率化　・職員内では共有ドライブを利用しての会議のペーパーレス化やチャット機能を利用しての情報の即時共有、アプリを活用しての意見集約など効率的、効果的な情報共有のしくみづくりを推進した。　・保護者への緊急連絡はメールを活用できる体制をつくっている。　３　教育活動の効率化　・多様な教育活動を効果的に実施できるように整理・精選を図っている。　・活動内容によっては、担任だけでなく、学校支援ボランティアや地域おこし協力隊、村の事業を積極的に教育内容に取り入れ、専門家の指導を得ながら効果的な教育活動となるように連携を図っている。４　時間管理の意識向上　・会議時間を設定し、限られた時間内での効率的な運営を進めている。　・毎週水曜日をノー残業デーに設定し、心身のリフレッシュになるように働きかけている。　・毎月１回は事務整理日を設け、校務を処理する時間を確保している。　・長期的な見通し、短期的な計画を提示しながら、業務遂行の見通しをもって軽重を付けて進めるように働きかけている。 |